

# 「亥」年を生きる

フィリピ3章5～14節



# 「猪突猛進」

- ・周囲を考えることなく、ひたすら前へ突き進むこと。「猪」は、イノシシの意で、イノシシが突き進むさまからいう。
- ・「猪突猛進」の人生を送ったひとりの人物。パウロ。
- ・彼の生き方に私たちも学ぼう！



## フィリピ3章5～14節

わたしは生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派の一員、熱心さの点では教会の迫害者、律法の義については非のうちどころのない者でした。しかし、わたしにとって有利であったこれらのこと、キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。



## フィリピ3章5～14節

そればかりか、わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくたと見なしています。キリストを得、キリストの内にいる者と認められるためです。わたしには、律法から生じる自分の義ではなく、キリストへの信仰による義、信仰に基づいて神から与えられる義があります。



# フィリピ3章5～14節

わたしは、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです。わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。



## フィリピ3章5～14節

兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向かつて、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。



# 後ろのものを忘れる

- 過去の失敗を引きずらない
  - 過去の罪はすべて清算されている
  - 「主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。」(哀歌3:22-23)
- 過去の出来事にこだわらない
  - 人間関係において
- 過去の栄光に頼らない
  - 「キリストのゆえに損失」である



# キリストにある現在

- 主キリスト・イエスを知ることのあらしさ
- キリストの内にいる者と認められ
- キリストを得ること
- キリストへの信仰による義
- キリストとその復活の力を知り
- 自分がキリスト・イエスに捕らえら

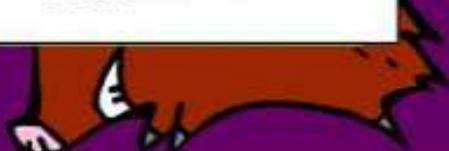
知識

資格

財産

立場

能力



・何

・P

・J

せ

不要なものはかい求めて  
本当に必要なものを  
見失っていないか！

たい

は

いま



# 猪突猛進

「なすべきことはただ一つ、後ろのものを見失さず、前進するに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」

